

活動名称 (40字以内)	帰還困難区域の「街づくり」を考える。ー復興に対する多様な「想い」に触れながらー		
団体名等	本学学生 (活動指導教員: 開沼博准教授)		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	1 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	特になし(大学院学生も歓迎する)		
活動期間	夏季休業期間 2週間(予定)	主な活動予定場所	福島県
目的	復興における長期的な課題に対して理解を深めること。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>[企画概要]</p> <p>東日本大震災により、東北地方を中心に多くの自治体が被害を受けた。特に福島第一原子力発電所事故による被害を受けた福島県浜通り地域の自治体の多くでは長期間の避難を余儀なくされた。特に発電所周辺に位置する浪江町・双葉町・大熊町・富岡町の4町は避難指示解除が比較的遅かったこともあり、人口の回復が遅れ、現在でも帰還困難区域に指定された場所が残るなど復興はいまだ道半ばである。</p> <p>2011年から現在までの12年間、「復興」の名のもとでインフラ整備をはじめ数多くの取り組みがこれまでに各町で行われてきた。長期的・広域的な避難により、被災者一人ひとりが置かれている状況は多様を極め、一人ひとりの状況に合わせた取り組みを遂行することは容易ではない。そもそも今後まちをどうしていくべきかの見通しさえも立ちにくいような状況が続いてきた。その一方で、震災からすでに10年以上が経過した現在では、震災前は現地にいなかったような移住者なども地域で徐々に増えているほか、震災前に住んでいた地域に帰還した人も日常生活を取り戻しつつあるなど、復興のフェーズは次のステップに確実に踏み出し始めている。</p> <p>そこで本プログラムでは、帰還困難区域に指定された区域をはじめ複数回の現地視察のほか、これまで町の復興に携わってきた4町の役場職員の方々をはじめとする現地の方々への聞き取りやプログラム参加者の皆さんとの議論を通じて、現地自治体ではどのような考えや想いをもってこれまで復興を進めてきた、あるいはこれから進めようとしているのかを一緒に学び考える。現地の復興を最前線で進めてきた方々と直接意見を交わし、これからの復興について議論できるプログラムはそう多くないだろう。この貴重な機会をフルに活用し、福島/復興/災害にこれまであまり関心がなかったような人でも参加してよかったと思ってもらえるような、そしてプログラム終了後は4町の関係人口となってその後の復興の進捗を気にかけて続けたいようなプログラムを一緒に作り上げたい。</p> <p>[プログラム構成内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者へのヒアリング ・現地の視察(帰還困難区域の視察を含む) <p>※浪江町・双葉町・大熊町・富岡町の4町の中から、参加者の希望を取りながら複数自治体を現地視察します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内での議論 ・自治体への議論内容のフィードバック <p>※昨年度のプログラムの様子は以下のURLからご覧いただけます https://www.iii.u-tokyo.ac.jp/research/221004kainuma</p> <p>[活動期間]</p> <p>合計2週間程度(参加者内で議論する時間により多少前後する可能性あり)</p> <p>[スケジュール]</p> <p>キックオフミーティングを7/21,24,25のいずれかの日程に実施予定です。 現地活動を夏季休業期間中に2回程度実施予定です(①8/7-8、②8/27-9/4のうち2泊3日)。 9月中にメンバー内で議論を行い、議論した内容を9/19-9/24のうち2日間で現地の方にフィードバックする予定です。 * 活動内容・日時は参加者の希望や予定に合わせて柔軟に変えていきます。 * 原則議論は対面で行うことを想定していますが、都合がつかない場合はオンライン参加も可能です。</p>		
備考	・キックオフミーティングは大学のキャンパスあるいは大学所有の研修施設等で実施予定です。		
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 30,000 円程度 宿泊費 50,000 円程度 活動費 30,000 円程度 計 110,000 円	奨励金額 40,000円(予定)	
ウェブサイト等			